

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

事業名【新】岐阜県設計積算システム移行及び運用保守業務

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111(内4573)

E-mail：c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費		35,787 千円	(前年度予算額：		千円)
	県土整備部	28,627 千円	(前年度予算額：		千円)
	農政部	2,937 千円	(前年度予算額：		千円)
	林政部	2,937 千円	(前年度予算額：		千円)
	下水道課	368 千円	(前年度予算額：		千円)
	水道事業課	918 千円	(前年度予算額：		千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	35,787	0	0	0	0	0	19,084	0	16,703
決定額	35,787	0	0	0	0	0	19,084	0	16,703

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県設計積算システムは岐阜県農政部、林政部、県土整備部、都市建築部及び協定を締結した県内市町村・県外郭団体に係る建設工事や設計業務委託等の積算業務を行うためのシステムであり、積算精度の向上及び職員の負担軽減など事務の効率化を実現している。

現行積算システムは令和6年3月で契約が終了するため、現行積算システムで発注した繰越工事や債務工事については設計変更や帳票出力ができなくなる。

しかし、次期積算システムは新規開発のため、設計書データを保管するデータベースの構造が現行積算システムと異なり、設計書データの互換性がない。そのため、現行積算システムの移行を実施する。

(2) 事業内容

○現行積算システムの移行

現行システムの機能（アプリケーション）、単価データ、設計書データを現在開発中の次期システムのサーバーへ載せ替える。

○現行積算システムの延長運用

現行積算システムを移行している期間について、変更設計が不可能な期間が発生するのを防ぐため、現行積算システムを延長運用する。

なお、単価改定及び歩掛改定、システム改修等は実施しない。

○システム移行後における現行積算システムの延長運用

現行システムの設計書は次期システムとの互換性がないため、次期積算システムと現行積算システムを令和10年3月まで並行稼働させる。

なお、単価改定及び歩掛改定、システム改修等は実施しない。

(3) 県負担・補助率の考え方

県、市町村等の利用端末数により費用分担する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	35,787	岐阜県設計積算システム移行及び運用保守業務
合計	35,787	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

自治体ごとに対応が異なる

(3) 後年度の財政負担

令和9年度まで、システムを適切に運用管理するための費用が必要である。

年度	R06	R07	R08	R09	合計
農政部	2,937	271	348	410	3,966
林政部	2,937	271	348	410	3,966
県土整備部	28,627	3,515	3,130	2,867	38,139
県（県土+都市）分	9,543	595	765	901	11,804
利用団体分（※）	19,084	2,920	2,365	1,966	26,335
下水道課	368	55	70	82	575
水道企業課	918	217	279	328	1,742
合計	35,787	4,329	4,175	4,097	48,388

※利用団体の負担額（県に支払う負担金）

年度	R06	R07	R08	R09	合計
利用団体（市町村）	17,983	2,703	2,086	1,638	24,410
利用団体（外郭団体）	1,101	217	279	328	1,925
合計	19,084	2,920	2,365	1,966	26,335

利用団体分はR6年度に市町村の負担金を徴収し、県が支払う。

（４）事業主体及びその妥当性

県が発注する建設工事等において使用するシステムであるため、県が主体となり事業を実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

現行システム内で積算した設計書について、工事完了まで現行積算システムを利用し設計変更及び帳票出力を行うため、工事完了まで積算システムの機能を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

岐阜県設計積算システムのデータ移行のための委託料であるため、特に指標となる数値がないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 なし

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 建設工事等の発注のために、設計積算システムは不可欠であるため、適切に積算業務ができるよう運用する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】